



# ほけん だより



れい わ ねん がつ にち  
令和8年10月1日

今年は、例年より早く、9月上旬から福岡県内でインフルエンザの流行が始まっています。また、9月には麻疹（はしか）の患者も確認されています。10月も後半になると、朝晩の冷え込みが増えてきます。体調に気を付けながら、思いきり秋を楽しみましょう。

今年度より、5歳児検診が10月から始まります。対象は、らいおん組の子どもたちです。10月～12月にかけて個別に案内が届きます。

## インフルエンザ

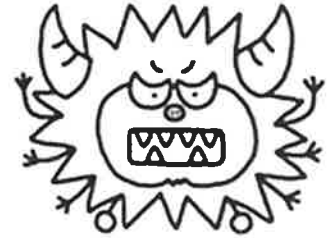
### インフルエンザの初期症状

- ・急に38℃以上の発熱
- ・発熱に続いて咳や鼻汁など
- ・倦怠感や関節痛など全身症状
- ・子どもは「だるい」と言えないことが多い  
「元気がない」「きげんが悪い」が倦怠感のサイン
- ・下痢や嘔吐をとまなうことがある
- ・症状の進行スピードが早い

### 登園再開のめやす

インフルエンザ発症後5日を経過し、  
かつ解熱して、3日が経過していること。

※ 医師の指示に従ってください。



### 医療機関の受診

発症直後は、正しい結果が出ないことがあります。いつから、どんな症状が出たか、身近に同じ症状の人や、感染者がいないかなどの、状況を医師に伝えましょう。

インフルエンザの薬（タミフル）はウイルスが増えることを防ぎますが、ウイルスをやっつけることはできません。元気になるまでしっかり休みましょう。

## とびひ

最近、保育園で「とびひ」と診断された子どもたちがいます。

「とびひ」が疑われる場合は、早めに医療機関を受診してください。



### とびひは皮膚の感染症のひとつ

掻きむしった傷などに細菌が感染して発症します。症状は水泡や、びらん（水泡が破れてじゅくじゅくしている状態）分厚いかさぶた、痒みなどです。蚊に刺されて掻きむしり、とびひになるケースが多く見られます。感染力が強く、傷を掻いた手で他のところを触っていくと、「飛び火」のようにどんどん広がっていきます。放置したり間違った治療をするとすぐに悪化し、治りづらくなります。

### 「とびひ」にならないために

傷の清潔を保つのが大切です。とびひになりそうな傷があれば絆創膏やガーゼで覆い、入浴の際によく泡立てた石鹸で優しく洗って下さい。掻きむしらないように爪を短く切るのも大切です。水泡が出来たり、傷が悪化したり、痒くて我慢できずに触ってしまう場合は医療機関を受診してください。

